（中間評価）

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）

（実施期間：令和４～令和９年度）

実施機関：麻布大学（総括責任者：川上　泰）

取組の概要

本学教員の女性の割合は20%である。教員採用応募者総数に占める女性の割合も20%に留まっていることから、生物系女性研究者に「本学で働きたい」と思われるような支援体制の不足が指摘されてきた。一方、学部学生の女性比率は50%を超えるが、女子学生の博士前期課程への進学率は4.9%と男子学生の進学率（6.0%）よりも低い。これらの課題を解決するため、DEI推進センターを開設し、本学の魅力を高めて、女性教員応募者を増加させ、女子学生の大学院進学率を高める。それらの目標達成に向けて、①研究支援人材バンク設立や介護・育児サポート、教育研究指導のIoT化促進による研究効率の向上、②女性教員への学内や地域連携による共同研究推進、選択的メンター制度設置や研究再スタート支援による研究力向上、③執行部・教職員へのDEI啓発、女子学生へのキャリア開発教育、博士課程フェローシップ設立による研究環境整備を進める。

（１）評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
S	s	s	s	a	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

（２）評価コメント

学部学生の女性比率が 50%を超えているにも拘わらず、教員、大学院生の女性比率が低い状況に鑑み、学長のリーダーシップの下、「研究支援人材バンク」を介した研究支援人材の配置、ライフステージに合わせてメンターを選択できる「選択的メンター制度」の構築、女性研究者を研究代表とする共同研究支援などの取組を実施し、女性研究者を取りまく研究環境の整備や研究力強化を図った。また、大学初となる教員の女性限定公募の実施、理事や評議員への女性の積極的な登用、「大学院女子学生フェローシップ」による博士前期・後期課程への進学を目指す女子学生の支援などに取り組み、女性教員応募比率、採用比率、上位職教員の女性比率、女子学生の大学院進学率に係る目標をすべて上回り達成したことは高く評価できる。今後は、より高い目標を掲げ、取組の継続的な展開を図るとともに、獣医学、生命環境科学系分野で女性研究者の活躍促進を図る上で課題となることを詳細に分析することを期待する。

- **目標達成度：**女性研究者応募比率、採用比率、在職比率、指導的地位の女性比率、女子学生の大学院進学率に係る目標をすべて上回り達成したことは高く評価できる。
- **取組：**「DEI 推進センター」を設立し、女性研究者の活躍促進を図る盤石な基盤を整備するとともに、教育研究指導の IoT 化促進や実験ノートの電子化、「選択的メンター制度」や「Azabu One Lab」による研究互助体制の構築、「大学院女子学生フェローシップ」による後期課程のみならず前期課程の女子学生も含めた支援など、実効性の高い特色ある取組を実施したことは高く評

価できる。

- **取組の成果：**教員の女性限定公募の実施により、目標を大きく上回る数の優れた女性教員を採用した。また、女性理事１名、新たに制定した規定により女性評議員２名を誕生させたことは高く評価できる。「大学院女子学生フェローシップ」の効率的な運用により、女子学生の大学院進学率が男子学生の大学院進学率を上回る成果が挙がっており、女性研究者の次世代育成が期待できる。
- **実施体制：**学長を委員長とする「人事委員会」の下部組織として「DEI 推進センター」を設立し、「DEI 推進委員会」と各学部の教職員で組織する各種ワーキンググループが連携して女性研究者の活躍促進を図る全学的な体制を確立したことは評価できる。
- **今後の進め方：**少子化に向けた学部再編成の可能性や教員採用凍結の可能性もある中、長期的な視点を持って女性研究者の活躍促進に取り組む姿勢を明確にしており評価できる。今後は、理事会の理解と協力を得ることにより、本事業を継続するための十分な予算を確保することを期待する。